



受付第 0 4 A 0 8 0 5 号  
受付日：平成16年 6月17日

## 品質性能試験報告書

依頼者 株式会社 カ ナ イ  
常務取締役 並 木 高 様  
埼玉県八潮市西袋 7 1 7 - 1

試験名称 枠組壁工法用接合金物を使用した接合部の性能試験

標記試験結果は本報告のとおりであることを証明します。

平成16年 7月30日

財団法人 建材試験センター  
中央試験所長 勝 野 幸  
埼玉県草加市稲荷5丁目



品質性能試験報告書

試験名称	枠組壁工法用接合金物を使用した接合部の性能試験						
依頼者	株式会社 カ ナ イ						
試験項目	引張						
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物                      商品名：プレイヴホールダウン B-HD20                      用途：柱脚に使用する接合金物（アンカー型）                      形状・寸法：幅45mm，長さ240mm，厚さ6mmの鋼板添え板にU形に折り曲げた厚さ6mmの鋼板を溶接したもの（図-3参照）                      材質：SPHC (JIS G 3131)                      表面処理：ダクロタイズド処理</p> <p>2. 接合具                      木ねじ：六角スクリュー φ6.0×90，6本使用                      呼び長さ：90mm，ねじ部の長さ：60mm，ねじ部の外径：6.25mm，                      谷の径：4.45mm，ねじ山のピッチ：2.82mm，ねじ先の形状：切り刃先                      材質：SWRCH22A (JIS G 3507) 相当品であり，下記の化学成分を満足する。                      C (0.18~0.23%)， Si (0.10%以下)， Mn (0.70~1.00%)                      P (0.030%以下)， S (0.035%以下)， Al (0.02%以上)                      表面処理：ダクロタイズド処理                      アンカーボルト：M16六角ボルト，材質：SS400 (JIS G 3101)                      表面処理：Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610及びJIS H 8625)</p> <p>3. 使用枠組材                      たて枠：JAS規格の枠組壁工法構造用製材，樹種：S-P-F，区分：甲種，等級：2級，寸法形式：204</p> <p>4. 試験体数：7体（うち1体は予備試験体）                      参照：図-1～図-3（試験体の形状・寸法）</p>						
試験方法	「2002年 枠組壁工法建築物構造計算指針」（監修／国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，発行／社団法人日本ツーバイフォー建築協会）の第V編「材料および接合部の許容応力度等を定める試験・評価方法とその解説」の1.2.3「接合部の基準許容応力および基準終局耐力並びに基準剛性（繰返し加力接合部試験によるもの）」に準じて行った。その詳細を表-1に示す。						
試験結果	試験体		試験許容応力時		試験終局耐力	終局変位	試験剛性
	記号	番号	(Py) kN	(δy) mm	(Pu) kN	(δu) mm	(K) kN/cm
	BHD20-24	0	27.9	4.3	44.5	30.0	64.9
		1	30.7	5.6	49.1	30.0	54.8
		2	28.5	3.7	46.2	30.0	77.0
		3	27.2	4.9	43.4	30.0	55.5
		4	33.1	5.5	47.1	30.0	60.2
		5	28.9	5.1	45.0	30.0	56.7
		6	28.6	5.0	42.7	30.0	57.2
		平均	29.5	5.0	45.6	30.0	60.2
	標準偏差 s	2.09	0.68	2.39	0.00	8.42	
	5%下限値	24.6		40.0		—	
	基準値	基準許容応力 16.4	—	基準終局耐力 40.0	—	基準剛性 60.2	
(注) 基準許容応力は試験許容応力の5%下限値に2/3を乗じた値であり，基準終局耐力は試験終局耐力の5%下限値である。また，基準剛性は試験剛性の平均値である。 参照：表-2 (2/3Pmax時，最大荷重時及び破壊状況)，図-4 (荷重-変位包絡線の比較) 図-5 (荷重-変位曲線，包絡線及び完全弾塑性モデル)，写真-1～写真-6 (破壊状況)							
試験期間	平成16年 7月12日 ~ 14日						
担当者	構造グループ 試験監督者 橋 本 敏 男 試験責任者 高 橋 大 祐 試験実施者 守 屋 嘉 晃 ， 渡 辺 一						
試験場所	中央試験所						